

CBV突っ張りラック

CBV-8030/CBV-6030/CBV-4530

組立説明書

耐荷重: 10kg/段(棚板1枚当たりの平均静止荷重)

総耐荷重: 60kg



この度はキタジマスチール棚をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。
この商品は、組立式です。組立前に部材明細と、中の品物が全て揃っているかご確認ください。
この「組立説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ご準備していただくもの

- ・付属の組立工具(マグネスパナ、ドライバー)・保護手袋(軍手等)・組立説明書
- ・脚立・測定器具(巻尺等天井の高さを測れるもの)

組立手順

① 部材をご確認ください。



注意事項

⚠ 組立てについて

- 組立は必ず二人以上で行ってください。
- ・設置時に1人作業ですと転倒等の恐れがあります。
- 組立ての際は必ず保護手袋(軍手等)をご使用ください。
- ・本製品は鋼板製ですので角などでケガをしないようにしてください。
- 組立時は床を保護するために敷物を敷いて組立、設置をしてください。
- ・引きずって移動しますと床面・商品本体を傷つけます。
- 付属部品には小さい部品があります。乳幼児が触れないように注意下さい。
- ・誤って飲み込む危険があります。

⚠ 設置について

- 設置の際、椅子等を使用する場合は安定したものをお使いください。
- ・回転椅子やキャスター付の椅子はとて不安定で転落の危険があります。

■本製品は天井高さが270cmまでで壁に接する場所に設置するようにして下さい。

※ 特に次のような場所には設置しないで下さい。

- ・天井が持ち上がってしまう所。
- ・天井が斜めの所。
- ・床、天井が軟らかく不安定な所。(畳の場合は硬い板をひいてその上に設置して下さい)
- ・壁のない所。

⚠ ご使用時について

- 棚板の耐荷重を守り、載せすぎないようにご使用ください。
- ・棚板には均等に荷重がかかるようにしてください。
- ・載せすぎますと棚板の変形、落下により事故が発生する恐れがあります。
- 棚板には不安定で落下の危険性のある物、はみ出す物などは載せないで下さい。
- 本体を引っ張ったり寄り掛ったりしますと転倒や物の落下の危険がありますので、絶対におやめください。

■本製品は鋼板製ですので折れ曲がった部分や端面、角穴などに指等を入れますとケガのする危険がありますので十分注意して下さい。

■本体を引っ張ったり寄り掛ったりしますと転倒や物の落下の危険がありますので、絶対におやめください。

■本製品は鋼板製ですので折れ曲がった部分や端面、角穴などに指等を入れますとケガのする危険がありますので十分注意して下さい。

(特に幼児やお子様には注意して下さい)

■本体及び棚板などに変形あるいは破損等が生じた場合には使用しないで下さい。設置後、または物を載せた後は、1ヵ月毎につばりアジャスターや各部のネジのゆるみ確認を必ずして下さい。

■棚板には絶対にぶらさがったり、載ったり、寄り掛たりしないで下さい。

・棚板の変形、落下により事故が発生する恐れがあります。

北島株式会社

〒577-0815 大阪府東大阪市金物町3番4号

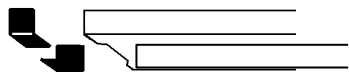
TEL 06-6723-1171 / FAX 06-6723-1182

② 設置する場所の天井高さを測ってください。

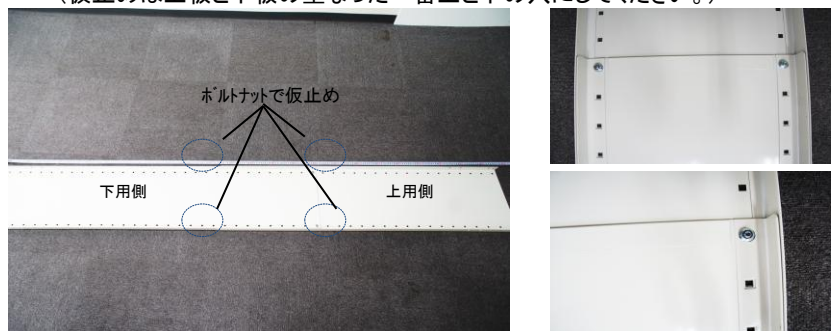


③ 側板を組み立ます。

- ・ I 下用側板にベースキャップを取り付けます。



- ・ II 測った天井高さより**約5cm位低い高さ**を目途に側板の高さを設定してボルト・ナットで仮止め下さい。
(仮止めは上板と下板の重なった一番上と下の穴にしてください。)



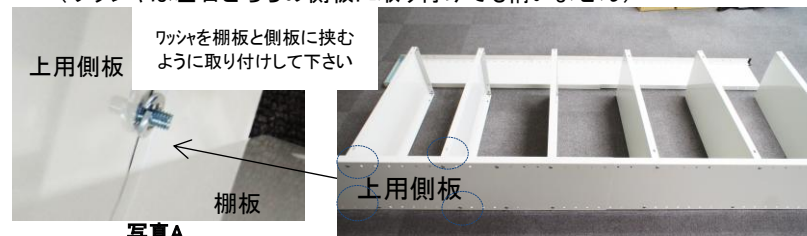
- ・ III 上側板の上部に空いている穴にアジャスターベースを下の写真のようにボルトナットでスパナを使用してしっかり締めつけて下さい。



※上の穴は天井に突っ張る時の調整用の穴になります。

④ 側板に棚板を取り付けます。

- ・ I まず片側の側板に棚板をボルトナットで仮締めして取り付けして下さい。
最下段の棚板のみ本締めして下さい。
- ※ 上用側板に棚板を取り付ける際は棚板と上側板の間に少し隙間ができる為、ワッシャー
写真Aの様にはさんで取り付けして下さい。
(ワッシャーは左右どちらの側板に取り付けても構いません)



- ・ II Iと同様に片面もボルトナットで仮締めして取り付けして下さい。



- ・ III I、IIの作業が完了したらアジャスターベースにアジャスターを取り付けて下さい。
(アジャスターは最後までねじを締めてください)

⑤ 棚を起し本締めします

- ・ I 棚を起し設置する壁面と水平に立ててスパナを使用し本締めして下さい。
(転倒する恐れがあるので必ず二人以上で作業して下さい。)
- ・ II 本締め出来たら最後に天井保護金具を添えてアジャスターを天井にドライバーを使用し突っ張ります。
- ・ III 最後に棚の突っ張り具合を確認して完成です。

